

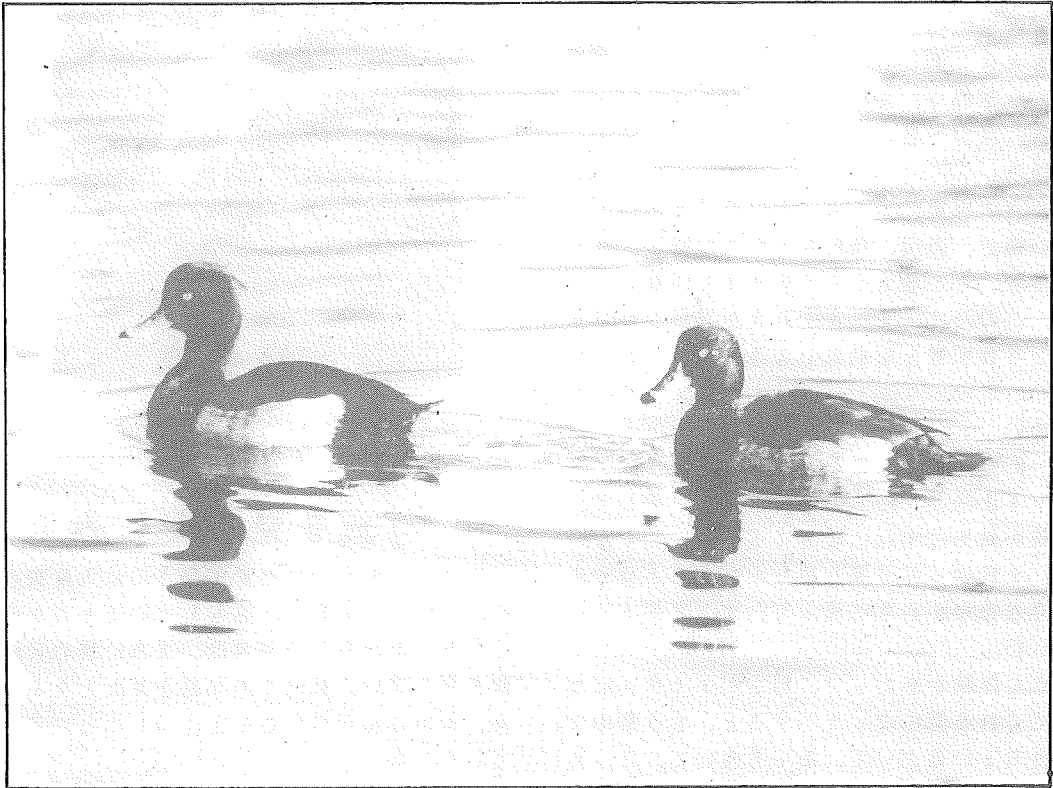


1987・3

第 34 号

しろこぼと

日本野鳥の会 埼玉県支部



キンクロハジロ（ガンカモ科）その名前の通り、目は金色で、体は黒く、羽は白い。頭の後ろに長い冠羽をつけた中々ダンディーな鳥である。淡水域を好む潜水ガモで、県内の河川や沼で普通に見られる。

得意の潜水で魚やエビ、貝などを捕えて食べるといわれるが、私が観察したものは、居眠り？や羽づくろいをしているものばかり。一度潜水の腕前をじっくり見たいものだ。

渡来は10月上旬ごろ、渡去は遅く、5月上旬に観察したことがある。

（松田 喬）

野鳥しゃしん考

たとえば毎号表紙をかざっている野鳥写真、いかがですか。バードウォッチャーであれば写真もうつつしてみたいと思う人は多いでしょう。今月は、県支部の中で毎月フィルム代を比較的多く浪費（？）していると思われる人が語る独断的野鳥写真の楽しみをお送りします。

写真をうつす楽しみ

せっかくの休日でも、妻よゆるせ、ゴンベよごめんと胸につぶやきながら、重い撮影機材とお弁当などを背負って家を出る。この瞬間がまず実に楽しい。

その数日前から、こんどの休日はどこに行つて何をねらおうかと秘かに考えをめぐらすのも大きな楽しみだが、そこから話をすると長くなるので、まずは当日の朝から。

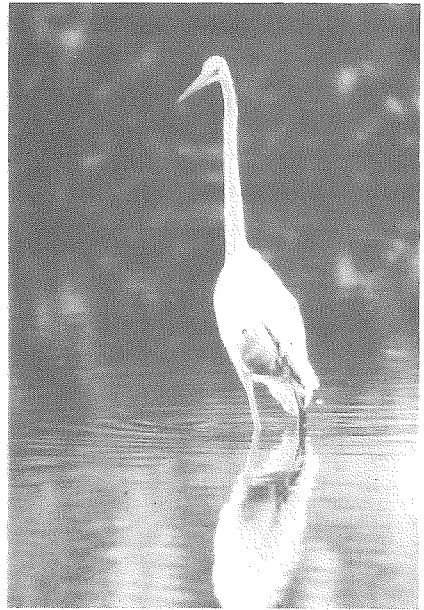
あ、ゴンベというのは、我が家の雑種犬の念の為。

めざす現場につくと、その時の光の向き、風の強さ、方向、鳥たち人たちの様子、構図と背景、その他もろもろを考えて作戦をたてる。この時は、それまで貯えた貧弱な野鳥知識と写真感覚を総動員して考える。これも楽しい。普段の仕事では、そんなにまじめに考えない。

一応の作戦をたてると、荷物を置き、ブラインドを張り、待ちの体勢に入る。そして、作戦が見当はずれに終わっても、いいじゃないか、1日ゆっくり楽しめたんだからと自分をなぐさめながら家に帰って、サンズイドリを楽しむ。

もし作戦があたって、鳥さんがモデルになってくれる気になったりすると、もう夢中で、もうちょい近づいて、あっち向いて、こっち向いて、あ、いいね、そのポーズ、なんて、フィルム代の事も、しばしばあじわう現像後の落胆も忘れ、シャッターを押す。この時、私も一流野鳥写真家の気分。

野鳥写真をうつすという事は、相手がズメでもカラスでも、実にスリリングで、楽しい。



△ダイサギ(松田 喬)

写真を見る楽しみ

ダイサギをうつした松田喬さんは大変長身の人、すらりと高く、話をしていると首が痛くなる。だからこの写真は、まさに彼の自画像を見る思い。私はこの写真を見たとき、あ、松田さんが松田さんをうつしたと口走ってしまった。

何げない写真に見えるキジバト。実はこの写真、うつす方とうつされる方、両方のドキドキがつたわってくる。きっとこれをうつした時木村さんは、とぶなよ、ちゃんとうつすまでとばないでいろよと祈っていたにちがいない。うつす方のドキドキ。

そしてキジバトの方は、何だかカメラをか

まえた人が近づいてくるよ、どうしようかな、にげようかな、もう少しだいじょうぶかな、なんて懸命に見ている。きっと小さな胸をドキドキさせながら。

このシャッターを押した直後にキジバトはとび、木村さんはごめんつつぶやいたにちがない。そんな両者の緊張の瞬間を、この写真で追体験できる。

野鳥写真を見るという事も、いろいろな楽しみ方があって、実に楽しい。

野鳥写真、究極の楽しみ

現象があがってきた自分の写真を最初に見る楽しみ、がっかり、お、残念、もう少しだったなの連続の中に、たまに、まあまあだな、うむうむのまじっている楽しみなどいろいろあるが、では、何の為に野鳥写真を撮るのか、これを考えてみよう。

珍鳥記録の為にうつす人がいる。それも良い。だが、ただ仲間うちで自慢したいからうつす人がいる。珍鳥が出たと聞けばわっと押しかける。あっちに行った、こっちだと、車で追いかけてまわし、他の人のレンズの前もかまわずにずかずか近より、疲れた鳥をまたとばす。田畑の作物も荒らす。

ある高名な写真家は、売る為に写真を撮る



△キジバト(木村義人)

す。だからまだ巣立ち前のヒナを巣から取り出し、花の中に置いてきれいな写真を撮る。強引な撮影方法で稀少猛禽が巣を放棄してもこりずに、また別な巣をさがし、まわりの枝を切る。



△ヒヨドリ(海老原美夫)

どうも人間側の我欲が出た時、野鳥写真家は野鳥にとっても大きな害となるようだ。

そんな言語道断、横断歩道的な連中は別にして、多くの善良な人々は、自分の写真が野鳥保護に役立つ事を願っているはずだ。

野鳥たちのすばらしさ、かわいらしさ、懸命な生命の輝きを、たった1人にでも良い、自分の写真で伝える事ができたら、それこそが野鳥写真を撮る人の究極の楽しみなのだ。
(海老原美夫)

写真クラブへのお誘い

野鳥写真を撮ってみたい。初歩的な事でも気楽に尋ねられるところがほしい。うつした写真を見てもらいたい。勉強しあってより良い写真を撮りたい。

いろいろな人に集まってもらって、写真クラブ(名称も未定)を結成したいと考えています。昨年1年間の野鳥写真教室をふまえ、写真の面から支部活動を支える事を目的に、ともかく気楽なクラブでありたいものです。

3月7日(土)午後2時、浦和市立コミュニティセンターにお集まりください。写真クラブ設立について話し合います。

『春の使者、ツバメを見ましたか？』



そろそろ春、あなたの近くでツバメを見ましたか。

みつけたら、すぐ、日本野鳥の会自然情報センターにお知らせください。日本野鳥の会では、あいまいになったといわれる季節感をとりもどそうと、全国の自然が好きな皆さんに呼びかけ、春の使者ツバメの渡来情報を集めています。1987年度版ツバメ渡来マップづくりにあなたも参加しませんか。

参加して下さった皆さんには、自然情報シールをプレゼント。また、ツバメ渡来マップは、秋に発行予定の「バードウォッチャー

ズイヤーブック」に掲載される予定です。

今年、ツバメをみつけたかたは、はがきに、日付、場所（地図でさがすことができるように書いてください）、住所、氏名、会員番号をご明記の上、下記の宛先までお送りください。

〒150 東京都渋谷区渋谷1-1-4
青山フラワービル 5F

(財) 日本野鳥の会
自然情報センター



『しらこぼと』
袋づめの会
にお集まりください

今まで『しらこぼと』発送のための袋づめ作業は事務局で行われていましたが、より多くの方々にお手伝いいただけるように、2月からは下記の通りに実施しています。

みんなでワイワイガヤガヤ野鳥情報を交換したり、おしゃべりしたり、楽しくやりませんか。どなたでも歓迎、早く『しらこぼと』を読める特典つきです。

○日時 3月28日(土) 一毎月最終土曜日 一
午後1時～5時

○場所 浦和市立コミュニティーセンター
(浦和駅西口から県庁通り西進、中山道左折約600m、徒歩約8分) 2階の第2和室(月によって部屋はかわります)



野鳥と花の

日光一泊探鳥会

参加者募集!

6月13日(土)、14日(日)。電車利用の一泊探鳥会。奥日光光徳ロッジ泊。費用=13,000円ほど(宿泊費、交通費共)。

定員30名(先着順)。申し込みは探鳥会で受けつけます。電話での申し込みは、

(中島康夫)まで。メ切は、5月15日。

鳥 キビタキ、ノビタキ、オオルリ、マミジロ、ホオアカ、オオジシギ、カッコウ、カワガラス、
ミソサザイ、キバシリ、キツツキ類、カラ類、コルリ、ルリビタキなど。

花 ヒメジャクナゲ、ズミ、ワタスゲなど。



カッパ
今井明巨

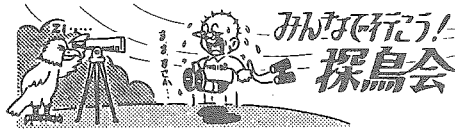
野鳥情報

コハクチョウ ◇12月22日、熊谷市河原松山で6羽(山口 博)。
 トモエガモ ◇1月13日、吉見町大沼で12羽(谷津弘子)。
 ヨシガモ ◇1月15日、吉見町天神沼で♂1羽(横井順一、千葉幸好)。◇同日、越谷市の古利根川で18羽(山部直喜)。
 アメリカヒドリ ◇1月13日、越谷市の古利根川で♂1羽(山部直喜)。
 ホシハジロ(白化) ◇1月7日、浦和市の荒川で白化個体1羽(石井 智)。
 アオサギ ◇1月7日、浦和市秋ヶ瀬の鴨川排水機場で1羽(西城戸 司)。
 オジロワシ ◇12月25日、鴻巣市大間の上空で1羽(榎本登志枝)。
 オオタカ ◇12月7日、鶴ヶ島町高倉の林で若鳥1羽(宮内滋子)。◇12月31日、大宮市高木で若鳥1羽。カモを襲う(森本國夫)。◇1月7日、大井町亀久保上空で1羽(石井清澄)。◇1月25日、所沢市下富で1羽(藤原寛治)。
 ハヤブサ ◇浦和市秋ヶ瀬B地区で1羽(石井 智)。
 チョウゲンボウ ◇12月30日、鴻巣市大間の荒川河川敷で♀1羽(榎本秀和)。
 ムナグロ ◇1月3日、大宮市日進町の鴨川で1羽(大橋義男)。
 ケリ ◇1月3日、大宮市の指扇中学校付近の水田で2羽(大橋義男)。
 コミミズク ◇1月7日、浦和市秋ヶ瀬Aサイド地区で1羽(西城戸 司)。
 フクロウ ◇12月24日、越谷市で1羽(山部直喜)。
 アリスイ ◇12月14日、熊谷市大麻生の県営ゴルフ場で1羽(西田賢治、矢島慎一、町田昭紀、青木 崇)。
 アカゲラ ◇1月2日、大宮市日進町で♂1羽(森本國夫)。
 シロハラ ◇12月31日、大宮市日進町で♂1

羽(森本國夫)。
 キクイタダキ ◇12月7日、鶴ヶ島町高倉の林で4羽(宮内滋子)。◇12月30日、大宮市日進町で1羽。ヒガラ5羽と共に行動する(森本國夫)。
 ヒガラ ◇12月14日、鶴ヶ島町高倉の林で9羽(宮内滋子)。◇12月21日、鴻巣市大間の雑木林で2羽(榎本秀和)。
 ヤマガラ ◇12月21日、宝登山ロープウェイ駅で4羽(今井明巨)。
 ホオアカ ◇12月13日、秩父市の聖地公園で1羽(西田賢治)。◇1月3日、岩槻市増長の休耕田で2羽(石川敏男)。◇1月7日、浦和市秋ヶ瀬A地区で2羽(石井 智)。
 ミヤマホオジロ ◇12月14日、鶴ヶ島町高倉の林で♂6羽♀5羽(宮内滋子)。◇1月15日、三芳町の多福寺で♀1羽(草間和子)。
 オオジュリン ◇1月15日、大里郡川本町の植松橋で1羽(鈴木忠雄)。
 マヒワ ◇1月8日、川越市下松原の保存林で3羽(石井清澄)。
 アトリ ◇1月3日、熊谷市大麻生の県営ゴルフ場で20羽(今井明巨)。◇1月7日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽(西城戸 司)。
 ウソ ◇1月5日、北本市石戸宿で1羽(石井 智)。◇1月25日、蓮田市の黒浜沼で♂♀各1羽(浅田徳次)。



阪東大橋で越冬中のマガン
北川慎一撮影



野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
受付は探鳥会当日です。予約申込みは必要

ありません。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡（なくても大丈夫）などをご用意ください。小雨決行です。

参加費は、一般＝100円、会員と中学生以下＝50円

3月8日(日) 熊谷市 大麻生

— 冬鳥にサヨナラする会 —

午前9時30分秩父鉄道大麻生駅前集合(秩父鉄道熊谷9:04発→大麻生9:12着/秩父鉄道寄居9:01発→大麻生9:15着)。カモ、ツグミ、ジョウビタキなどが、北国に帰る時がきました。午後1時ごろ解散。(担当＝鈴木忠雄、今井明巨)

3月14日(土) 浦和市 さぎ山記念公園

— あの野田のサギ山は、今… —

午前9時30分さぎ山記念公園駐車場集合。大宮駅東口国際興業バス7番乗場から中野田行き8:41発→上野田下車/浦和駅西口1番乗場からさぎ山公園行き8:55発→終点下車。午後1時ごろ解散。ノスリ、タゲリ、アオジなどにこの冬最後のごあいさつ。(担当＝松井昭吾、楠見邦博、中島康夫、草間和子)

3月15日(日) 浦和市三室地区(浦和市立郷土博物館共催・定例)参加費無料。

— ほら、もう春が —

午前8時15分北浦和駅東口又は、午前9時郷土博物館前に集合。午後1時ごろ解散。冬の間見られたカモ、ツグミ、ジョウビタキたちもそろそろ北国へ帰り始めます。(担当＝楠見邦博、福井恒人、渡辺周治)

3月15日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

— 山あいの町にも春の訪れが —

午前9時寄居駅南口集合、午後1時ごろ解散。東武東上線川越7:38発森林公園乗換えて寄居8:45着/秩父鉄道熊谷8:30発寄居8:58着。ヒガラ、エナガ、コゲラなどの混群と、ヤマセミに期待します。(担当＝田村、新井、萩原、篠田、北川)

3月21日(土、休日) 鳩山町 物見山

— 谷間に春風、ぼかぼか山道 —

午前8時30分東武東上線高坂駅前又は、午前9時鳩山町公民館石坂分館集合。(朝霞台7:49→川越8:08→高坂8:29着/武蔵浦和7:26→大宮7:35→川越7:54→東上線へ乗換え。高坂駅から鳩山ニュータウン行バス乗車、終点下車)鳩山町中央公民館共催。参加費無料。12時ごろ解散。

雑木林の小鳥たちやオオタカ＝感動……の予定。(担当＝海老原美夫、福井恒人、榎本秀和)

3月22日(日) 長野県 軽井沢

— 北国に帰る冬鳥の群れを探そう —

午前6時30分大宮駅中央改札口前集合。電車利用の日帰り探鳥会です。ハギマシコ、アトリ、マヒワ、イカルなどの群れに会えるかな。中軽井沢駅から別荘地を通り野鳥の森周辺まで歩きます。雪がありますから足元と防寒をしっかりと。午後3時ごろ解散。大宮6:42発又は、大宮7:22発あさま1号に乗車も可。中軽井沢駅下車。(担当＝中島康夫、楠見邦博、福井恒人)

3月29日(日) 坂戸市 高麗川

— 春の色を感じる高麗川を歩く —

午前9時東武鉄道越生線川角駅前集合。午後2時ごろ解散。(埼京線大宮7:35発→川越7:54着・東武東上線乗換・川越8:08発→坂戸8:22着・越生線乗換・坂戸8:39発→川角8:47着)。今回も、カワセミ、ヤマセミが見られるかな。(担当＝中島康夫、楠見邦博)

4月5日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

— 今年もレンジャクは来るかな —

午前9時浦和駅西口バスロータリー集合。午後1時ごろ解散。毎年立寄るレンジャクが、今春も来てくれるかな。(担当＝福井、森本、大橋、海老原)



探鳥会報告

1月3日(土) 東京都北区 浮間公園

△ 34人 [天気] 曇後晴 [鳥] カイツブリ カワウ コサギ ヒドリガモ ヒドリガモとアメリカヒドリの中間型 オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ ユリカモメ セグロカモメ ウミネコ キジバト ヒバリ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(26種) ヒドリガモとアメリカヒドリの中間型。こんなのに出られるとリーダーとしては困るんです。緑色部以外の頭部全体が、白っぽいのが黄色を帯びていること、体側の褐色が薄いことから、大変アメリカヒドリに近いけど、中間型と判定。ウサギ年最初の探鳥会、ウとサギもちゃんと出ました。

1月4日(日) 吉見町 吉見百穴周辺

△ 56人 [天気] 晴 [鳥] カイツブリ コサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ オオタカ コジュケイ タゲリ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(38種) 吉見の野鳥が総出演。カモは10種類も出るし、オオタカも蒼空を舞って新春の御挨拶。運の良い人にはカワセミのお年玉も。

1月10日(土) 長野県 軽井沢

△ 27人 [天気] 晴 [鳥] コガモ トビ ハイタカ ノスリ キジバト アオゲラ アカゲラ コゲラ セグロセキレイ ヒヨドリ ヒレンジャク カワガラス ミソサザイ ジョウビタキ ツグミ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジュウカラ アトリ カワラヒワ ハギマシコ ベニマシコ ウソ イカル シメ カケス ハシボソガラス(29種) 寒いけど、やっぱり軽井沢。ヒレンジャク、ウソ、ハギマシコなど十分に楽しめた。雪景色の中の鳥もなかなかいいものですよ。

1月11日(日) 滑川町 森林公園

△ 31人 [天気] 晴 [鳥] コサギ オンドリ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ノスリ キジバト コゲラ キセキレイ ヒヨドリ ミソサザイ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ウソ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(32種) 初めての森林公園での探鳥会。公園南口から中央口へ歩く。オンドリの美しい姿に見とれ、4羽のコゲラのコミカルな動きに笑いがもれた。山田大沼では、ヨシガモとトモエガモの8をじっくりと観察できた。

1月18日(日) 浦和市 三室地区

△ 71人 [天気] 晴 [鳥] コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ノスリ イカルチドリ ハマシギ タカブシギ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(36種) 芝川では、ハマシギの群舞に歓声が上がった。また、カワセミを見られた運のいい人も居て、うらやましがられた。ノスリが100羽位のカラスにモビングされているのを見て、思わずノスリ君頑張れと応援。

1月25日(日) 久喜市 昭和池

△ 36人 [天気] 晴 [鳥] カイツブリ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ セグロカモメ、キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシブトガラス(27種) お目当てのトモエガモもたっぷり見られて満足。風が強くて寒かったけど、浅田リーダーのご好意のけんちん汁ですっかり暖まった。どうもごちそうさまでした。

1月25日(日) 三芳町 多福寺

△ 19人 [天気] 曇 [鳥] キジバト アオゲラ コゲラ セグロセキレイ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ キクイタダキ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(21種) シジュウカラのまとまった群れに出会った。切り倒された松にアオゲラの巣穴があり、ノミで削ったような入口などは、芸術的でさえあった。

連絡帳

なんてたって12ページ

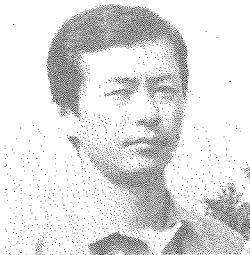
今まで普通8ページ、時々12ページだった『しらこぼと』が、4月号からは常時12ページになります。ジャーン。表紙のデザインも変わります。ジャジャーン。お楽しみに。

誌面が足りなくて割愛されていた「会員の声」も堂々復活の予定です。ジャジャジャーン。はがきに気楽に書いて、ドンドンお寄せください。ヤマベズク編集部長がお待ちしています。

校正を手伝ってください

月に1度、20日すぎごろの夜に、大宮市桜木町4丁目にある望月印刷㈱での校正作業を手伝ってくださる方、いらっしゃいませんか。毎回でなくても良いのです。時々でも手伝ってくださればたすかります。校正についての専門知識がなくてもできる仕事です。私たち

編集部員らも全員しろ
うとの集まりです。森
本國夫担当幹事(☎)



=写真左=または事務局まで声をかけてください。

全国一斉ガンカモ調査

1月15日、全国1,200か所以上でガン・カモ・ハクチョウ類調査が行われました。埼玉県内では13か所、延べ60人の調査員が出て眼精疲労との戦いに挑みました。結果は藤原寛治担当幹事=写真右上=が集計中です。

4月29日には県内シギ・チドリ類一斉調査が実施されます。いっしょにカウンターをカチカチやってみたい方は、早めに研究部の方にご連絡ください。



会員数は

2月20日現在662人です。

活動報告

- 1月10日 会員名簿コピーを本部へ送付。新会員制度実施に伴う最終チェック。
- 1月11日 普及部会議。総務部会議。役員会(入会案内パンフレット、全国支部代表者会議出席者、4月の行事予定など)。
- 1月17日 普及部会議。
- 1月18日 編集部会議。
- 1月31日 『しらこぼと』2月号袋詰め(ボランティア7人)。2月2日発送。
- 1月31日 研究部会議。



三室の探鳥会を担当して2年が過ぎようとしています。お陰様で皆様の協力を得て、すばらしい探鳥会が続いています。

探鳥会の朝は、コースをひとまわりしているのですが、ある朝、コースに出ると中学生のA君が鳥をみていました。近よると今日のコースの地図と鳥とその数をみせてくれました。次代の新鳥人類がぞくぞく育っています。

三室の春はもうすぐです。(楠見)

題字『しらこぼと』：日本野鳥の会会長・山下静一

(イラスト風見出し・鷹尾正済)

『しらこぼと』	1987年3月号(第34号)	頒価100円(会費に含まれます)
	発行人 今井昌彦	発行所 日本野鳥の会埼玉県支部
発行所事務局 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号	プリムローズ岸町107号	
電話 0488(32)4062		
郵便振替 東京9-121130	銀行振込口座	埼玉銀行浦和支店普通預金316990
印刷所 望月印刷株式会社		

(無断転載を禁じます)